

TOP / LOCAL / 芸術家が愛した廃墟の美、ドイツ・ハイデルベルク城

BACK

芸術家が愛した廃墟の美、ドイツ・ハイデルベルク城 | 世界の美しい城（第1回）

2020.08.21 鷹橋 忍

LOCAL

SHARE



文＝鷹橋 忍

世界各国にある城や宮殿は、当時の背景や権力者の歴史を伝えるだけでなく、美しく、荘厳な眺望は時間を忘れさせてくれる。実際にこの目で見られる日が来ることを楽しみに、貴重な建築物の魅力を、関連する人物のユニークなエピソードともにお届けしていきます。



ドイツ・ハイデルベルク城 写真：PantherMedia/イメージマート

ドイツ最古の大学として知られるハイデルベルク大学とともに、世界各地から訪れる人気のスポットだ。マンハイム（ドイツ）から、チェコ共和国の首都プラハへと続くドイツの観光街道「古城街道」の筆頭に挙げられる城でもある。

この城の最大の特徴は、内部の多くは廃墟と化しているのに、ほとんど再建されぬまま、公開され続けていることだろう。

「廃墟の美」とでもいうのか、崩れ落ちるままの姿は、想像力をかき立て、歴史の重さを感じさせる。ゲーテ、カント、ショパンなどの名高い芸術家や哲学者たちがこの城を愛し、その美しさをたたえ、芸術的、あるいは哲学的なインスピレーションを得たという。

眺望も、この城の大きな魅力のひとつだ。城のテラスからは、旧市街とネッカー川などが一望でき、多くの観光客の目を楽しませている。

中でも、一番のビューポイントは、ネッカー川の対岸の山の中腹にある「哲学者の道」からの眺めだ。山の中腹にそびえる廃墟の城と、赤い屋根が続く街並み、川に架かるアーチ型のカール・テオドール橋は、まさに絶景。ゲーテやショパンも愛したと伝わるこの遠景は、今も人々を惹きつけてやまない。



城、旧市街、橋が一体となってハイデルベルクの景色を形成する。写真：PantherMedia/イメージマート

ハイデルベルク城は、13世紀の初めに、プファルツ選帝侯の居城として着工されたと伝わる。プファルツ選帝侯は神聖ローマ帝国の諸侯で、選帝侯とは、神聖ローマ皇帝の選挙権を有するドイツの有力諸侯を指す。

プファルツ選帝侯は約500年の長きにわたって、ハイデルベルク城を居城とした。歴代の選帝侯は増改築を繰り返し、城は、巨大な宮殿となった。

ところが、17世紀に入ると、ハイデルベルク城は、二つの戦禍に見舞われる。ひとつはフリードリヒ5世（1596～1632）の時代に勃発した30年戦争（1618～1648年）、もうひとつは、プファルツ継承戦争（1688～1697年）である。

30年戦争とは、ドイツを中心に行われた「最後で最大」といわれる宗教戦争だ。当初は神聖ローマ帝国内の新旧両派諸侯の戦いであったが、国際戦争に拡大した。フリードリヒ5世はプロテスタント側で戦った。また、プファルツ継承戦争は、プファルツ選帝侯領の継承権を主張するフランス王ルイ14世が起こした戦争である。

このふたつの戦禍に巻き込まれたハイデルベルク城は、徹底的に破壊されてしまう。プファルツ継承戦争が終結した後も、資金難やマンハイムへ宮廷を移したことなどの理由で、再建がかなわないまま、時は流れた。

カール・デオドール（1724～1799）の代になり、ハイデルベルク城に居城を戻す計画が持ち上がったが、まともや不幸に襲われる。なんと二度も落雷に遭い、城は炎上してしまったのだ。カール・デオドールは、これを「神の意志」と受け止め、再建を断念したという。

だが、19世紀頃から、フランスのグライムベルク伯を初め、ハイデルベルク城に魅せられた人々の努力により、街が建物の保存を定めた。1903年にはフリードリヒ館、1934年には婦人館王の間が復元され、現在に至る。

二度の大戦をくぐり抜け、現在も中世の雰囲気をもとったまま、その廃墟の美で人々を魅了し続けるハイデルベルク城。これも、神の意志なのだろうか。

各時代の様式が混在する、建築の玉手箱

ハイデルベルク城は、城壁や塔、火薬塔や庭園等の他に、フリードリヒ館、ルートヴィヒ館、ルブレヒト館など、代々の選帝侯が建てた城館が、中庭を囲むように立ち並ぶ「城郭宮殿」である。

建築面での特徴は、何度も増改築が行われてきたため、様々な建築様式が見られることだろう。



ループレヒト館

たとえば、現存する城内最古の城館であるループレヒト館の内部には、ルネサンス様式の暖炉が設けられ、14世紀に建築された八角塔はゴシック様式だ。またオットー・ハインリヒ館は、ドイツ初の宮殿建築といわれる。

ハイデルベルク城の見どころは数多く存在するが、観光の目玉は、巨大なワイン樽とペルケオだろう。

フリードリヒ館の前から地下へ入ると、世界最大級の巨大なワイン樽が聳えている。1軒の家ぐらいの大きさがあり、その容量は22万1726リットルといわれる。プファルツ選帝侯領はワインの名産地であり、領民から税として納められた多量のワインを、貯蔵しておいたのだ。

冬の王と王妃の物語

最後に、ロマンティックなエピソードをご紹介します。

ハイデルベルク城には「エリザベート門」という門がある。

これは、先述したプファルツ選帝侯フリードリヒ5世が、妻である、イギリス国王ジェームズ1世の長女・エリザベス（ドイツ語でエリザベート）・スチュアート（1596～1662）の19歳の誕生日プレゼントとして、造らせたものだ。しかも、妻を驚かせるために、一夜で造らせたと伝わる。今でいうサプライズだ。城内には「イギリス館」という城館もあり、これもエリザベスのために建てられたものだという。

イギリス館

エリザベスは大変に魅力的な女性で、「慈愛の王妃」と呼ばれて慕われていた。フリードリヒ5世も、エリザベスをととても大事に思っていたに違いない。

だが、二人がハイデルベルク城で過ごす日々は、そう長くは続かなかった。

先に述べたように、フリードリヒ5世は30年戦争を、プロテスタント諸侯として戦った。1619年に、プロテスタント貴族に推されて、一時はボヘミア王となったものの、翌年にはカトリック側の軍との戦いに敗れてしまう。ボヘミア王でいられたのは1年にも満たない短い期間であったため、フリードリヒ5世は「冬王」、エリザベスは「冬の王妃」という、不名誉なあだ名で呼ばれた。

その後、カトリック連合の追撃を受けたフリードリヒ5世は、選帝侯を廃位され、オランダへ亡命。エリザベスは、夫が流浪の身となっても見捨てることなく、ともにオランダで暮らした。

フリードリヒ5世は1632年に36歳の若さで亡くなってしまうが、エリザベスは夫との間に13人もの子宝を授かっていた。そのなかで、末娘のゾフィーはドイツ北部のハノーファー侯爵家に嫁いでいる。

このゾフィーの長男ゲオルクは、ジョージ1世としてイギリス国王の座に即いた（ハノーファー朝）。現在のイギリス女王エリザベス2世は、このジョージ1世の子孫である。

つまりエリザベスは、現在のイギリス王室の祖先なのだ。ハイデルベルク城は、現在のイギリス王室の祖先となる女性が、海を越えて嫁ぎ、夫と愛を育んだ城でもあるのだ。

鷹橋 忍
神奈川県出身。洋の東西を問わず古代史、中世史の文献を渉猟し、博覧強記を誇る。英雄たちの生き様やその最期にとくに感心がある。別のペンネームで小説家としても活躍している。著書に『滅亡から読みとく日本史』（河出書房新社）などがある。

こちらの記事もあわせてお読みください

2021.01.07 | 鷹橋 忍

湖に浮かぶ麗しの「囚人の城」スイス・シヨン城

LOCAL

➞

2020.11.30 | 鷹橋 忍

白雪姫のモデル、近代スペイン幕開けの城アルカサル

LOCAL

➞

2020.10.27 | 鷹橋 忍

6人の女城主が支えた屈指の名城、シュノンソー城

LOCAL

➞

2020.09.24 | 鷹橋 忍

英国最大で最古にして女王のホーム・ウィンザー城

LOCAL ➔

RANKING

ランキング

- 

「厚底」の次は「薄底」。ナイキの新シューズがロードレースに革命を起こす

酒井政人

1
- 

『鎌倉殿の13人』侍所別当・和田義盛の生涯と巴御前との行方

鷹橋 忍

2
- 

『鎌倉殿の13人』源頼朝を助けた三浦一族と、義澄・義村父子の生涯

鷹橋 忍

3

RECOMMEND

推薦記事



2022.05.17 | 酒井政人

「厚底」の次は「薄底」。ナイキの新シューズがロードレースに革命を起こす

SPORTS



2022.05.16 | 鷹橋 忍

『鎌倉殿の13人』侍所別当・和田義盛の生涯と巴御前との行方

LOCAL





2022.05.12 | 大谷 達也

超静かな電動Eクラスに試乗。メルセデス・ベンツは『EQE』をどう仕上げた？

CAR



2022.05.10 | のかた あきこ

海と一体になる！伊豆東海岸・いなとり荘の“インフィニティ”露天風呂

LOCAL



2022.05.09 | 鷹橋 忍

『鎌倉殿の13人』源頼朝の「懐刀」梶原景時の生涯と失脚の謎

LOCAL



2022.05.08 | 友廣 里音

10周年を迎えた「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」は社会問題を世界に発信

ART & DESIGN



2022.05.02 | JBpress autograph編集部

アメデオ テストーニが旧車をEV化するメーカーとの限定コレクションを発売

FASHION

➡

2022.05.02 | 酒井政人

2022年トラックシーズン開幕。箱根駅伝出場校の“新戦力”をチェック

SPORTS

➡

- CATEGORY
- SPECIAL

WATCH

FASHION

ART & DESIGN

CAR

GOURMET

JBpress

オートグラフ

f

🐦

📷

🔍

TOP

SPECIAL

WATCH

FASHION

ART & DESIGN

CAR

GOURMET

WINE

LOCAL

SPORTS

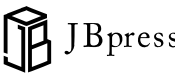
LOCAL

SPORTS

FOLLOW US



| [会社案内](#) | [個人情報保護方針](#) | [個人情報の取り扱いについて](#) | [著作権について](#) | [広告掲載について](#) | [アクセスデータの利用について](#) |



© 2008 Japan Business Press Co.,Ltd.